

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・10月に入ってから紳士物のウォームビス対応や品ぞろえに対する客の動きが非常にある。また、イージーオーダースーツの大型企画が大成している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上が128%、来客数も115%と絶好調である。3か月前と比べても、ほぼ同じ数字が出ている。やはり昨年のたばこの値上げ後と比較しているせいもあるが、ここ数週間は一般商品の動きも活発である。
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・イベント等で来客数が増えている。
		スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・今月は天候にも恵まれたのと、販売促進策が効果を奏し、来客数、売上共に上昇に転じてきている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・昨年10月のたばこの値上げによる反動もあり、たばこの販売額が前年比で170%前後になっている。そのため売上も前年比で118%前後と健闘している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・リニューアルオープン後、来客数が2割近く伸び、たばこ、ファーストフーズ、米飯などが特に好調である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・車の販売はあまり伸びていないが、車の使用量が若干上がっているようで、修理がやや多くなってきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・秋の行楽シーズンになり、前年よりは悪いが、客が少なかった3か月前と比べれば客は増えてきている。
		都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・ホテルは2か所にあるが、1か所は東日本大震災の復旧関係で稼働が特別に伸びたが、それが一段落しても今度是一般の客に置き換わり、それなりに稼働維持している。もう1か所については、東日本大震災後は復旧関係も需要が無く伸び悩んだが、今は一般や営業の客などで、少し稼働が向上している。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・東日本大震災の影響が残る3か月前に比べ、来客数の動きは回復傾向にある。今夏導入した新アトラクション効果や、前年と比較して天候が良いこともあいまって来客数が前年を上回って推移している。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・下期に入ってから徐々に来客数が増えてきている。3か月前と比べると成約率も高い。
		設計事務所（所長）	それ以外	・当社と取引のある建設会社によれば、東日本大震災復興工事が特に民間で活発となり、人手が足りない状況とのことである。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・大手小売店のランドセル販売競争激化のため、路面店の専門店や小売店は全く来客数が少なく、閑古鳥が鳴いている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・結婚式写真のプリント注文が前年の半分にも満たない状態である。結婚式の参列者も少なめである。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今年は景気が悪いと言う割には、運動会のシーズンに入った時には、やはり欲しい物は買ってもらえる。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・気候も普通になってきたが、これといった目玉もなく、祭の行われている日は人出はあるが、平日は静かそのものである。
		百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・競合店が9月にオープンして以来、来客数がやや減少している。目的買いの客が来店するためか、買上客数は向上し、売上で前年を上回っている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は先月の台風や残暑といったマイナス要因からの反動もあり、堅調に推移している。ただ、大型ショッピングセンターの出店もあり、トータルでは昨年並みの売上となっている。また、来客数の要であった大型物産催事は軒並み前年割れとなっている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・景気の先行き不透明感に加えて、気温が日ごとに上下する不安定な状況も来客数に影響している。なかなか主力商品の購買につながっていない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は最も落ち込んだ状況から回復していない。微減が続いている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・行楽、パーベキュー商材、運動会関連の動きがようやく既存店前年同月比102%と前年並みに推移し、東日本大震災による心理的自粛ムードは多少解消されてきている。

コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 2～3か月前の夏の好調さに比べ、秋口になって若干売上は落ちてはいるが、商品の動きは底堅いものがある。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 景気の先行き不透明感から不必要なものには財布のひもは固いが、おいしいもの、新商品の動き等、価値を見出せる商品の動きは良い。この点から景気動向は横ばいと考えられる。昨年はたばこの値上げに伴う買いだめが9月にあり、反動で10月は前月比35%と落ち込んだため、今年の10月は前年比120%となっているが、たばこを除く前年比は102%と微増である。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・ 東日本大震災から一段落し、特別大きな変化はなくなってきた。客も季節や気温の変化に対してある程度上下するくらいで、景気の影響にかかわる動きはなくなってきた。
家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・ 単価も下がり余分な物は控えている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ 新車購入の動きもみられるが、ハイブリット車、小型の低燃費車に偏っていて、全体的にはエンドユーザーの購買意欲はまだまだである。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ 自動車販売では全体的に販売台数が増加している。その中で輸入車が販売台数を伸ばしており、高級車が売れてきている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・ 東日本大震災以来、ここ何か月も販売台数が全く伸びていない。とにかく悪い状態ですと推移している。本当に必要な人だけが買い求めたり、エコカーに買い換えたりしているだけなので、販売量は伸びていない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・ 燃費が良く経済的な新車が発売となり、売れに売れている。そのため今月は前月に比べてもやや良い。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・ 来客数が安定し、季節商材を中心に動きが出ている。特に、節電対策関連商材の動向が好調に推移している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ ここ数か月、夜の来客数が非常に少ない状態が続いているので売上が伸びない。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・ 夏の観光シーズンの来客数は好調に推移したが、9月から伸び悩んでいる。良いとも悪いとも言えない。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・ 当地域に来る観光客が福島第一原子力発電所事故の影響による風評被害によって激減しているが、一般のビジネス需要は徐々に回復し、3か月前の状況に戻っている。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ 相変わらず県内の景気は良くない。これから忘新年会で、多少はお金を落とす機会もあるが、それまでしばらく動きはない。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・ 旅行はまだ回復していない。特に海外旅行では、タイの洪水も大きなマイナス要因となっている。
旅行代理店（所長）	販売量の動き	・ 年間で一番良い紅葉の観光シーズンを迎えてはいるが、例年に比較して美しい紅葉が見られるにもかかわらず、来街者は少なく、渋滞も軽度で日帰り客も多い。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・ 受注量は増えてきているようだが、春に東日本大震災のため中止となったものが駆け込み需要となっているため、景気が上向きとは言えない。前年比でも変わりはない。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・ 東日本大震災直後より販売量は伸びているが、前年比では75%程度である。後期になり行政系の事業が動き出したが、企業や商店からの業務は相変わらず非常に少ない。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・ 今に始まったことではないが、全般に商品が動かない。
通信会社（局長）	お客様の様子	・ 販売量は3か月前と比べ改善しているが、景気が上向いていると判断できるレベルにはない。客の状況は依然として節約傾向にあり、出費に対して敏感である。
通信会社（営業担当）	来客数の動き	・ 販売数、契約数の伸びが悪く、ここ数か月は停滞傾向にある。
ゴルフ場（業務担当）	来客数の動き	・ 2週連続で土曜日の天候が悪かったため来客数は減少したが、全体では前年並みである。
ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・ 3か月前と比べると、現在までトップシーズンになっているので入場者数も若干増えてきているが、ほぼ横ばいの状態である。

	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・10組以上の大型コンペは少なくなったものの、2～3組のコンペが多くなってきている。個人とのつながりを大事にしていると思われる。また、寒くなったために天気予報によってキャンセルが非常に多くなってきている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価共にほとんど変化が見られない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・8～9月は来客数が悪く、その反動のため10月上旬は2割増えた。中下旬は前年並みと落ち着いたが、売上の的には変わらない。
	その他サービス [フィットネス クラブ]（マネージャー）	競争相手の様子	・入会キャンペーンを実施した時のみ入会が増えるが、キャンペーンをしない月は全く反応がない。その点は自社、競合他社共に同じである。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新たな計画の依頼はとても少なく、厳しい状況が続いている。
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・3か月前もそれ以前も、景気は悪いままで少しも良くならない。仕事の依頼が無く、売上に繋がらない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・積極的に別荘を購入する動きがみられず、3か月前と比べて変化がない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず不動産の引き合いが少ない。土地についても激安の所は多少反応があるが、一般的な地価の土地は引き合いがない。貸し店舗等についても閉鎖や撤収で、新規入居は全く望めない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・以前から比較すると来客数やインターネットの問い合わせ数は増えているが、成約に至るケースは変わらない。客は購入に慎重な姿勢になっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・前半は商店街ぐるみの売出し効果もあって上昇の兆しもあったが、後半になると息切れでまた逆戻りと、低迷から抜け出すきっかけがつかめない。
	一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・客の購買意欲が見られず、季節商材、年末商戦を仕掛けても反応が鈍い。高額の商品は敬遠される傾向も強い。
	一般小売店[青果]（店長）	来客数の動き	・来客数が極端に減っており、会社帰りの客の動きもなく、人通りが全くないような状態である。
	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・月1回のチラシの案内で、今回は前年より来客数が13%ダウンし、チラシの目玉、食品も以前よりも売行きが悪く、売上は前年比92%である。また、寝具関係の目玉商品も多く出したが、見てはいるが買ってはいないので、売上は前年比35%と非常に悪い。じゅうたんも年に1回の展示会の案内を出したが、これも客はよく見ていくが、単価が非常に安いので、売上全体では43%と非常に良くない。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・ディスカウントストアの増加により、価格競争が一段と増している。
	スーパー（店長）	競争相手の様子	・売上や利益など、当店の実績も下降しているが、周りの競合各社のレジ稼働台数や商品の陳列量を見る限り、決して良いとは考えられない。
	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・土曜、日曜日の来客数が減少している。天候のせいもあるが、企業の休日の変化にもかかわらず客数は戻らず、暖房機器の販売も石油ストーブのみに限定されていて全体の数値は伸びず、コタツ等の電気暖房はマイナスである。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（従業員）	販売量の動き	・ガソリンの販売量が前年比85%である。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ディナータイムの売上が激減している。前年比で20%以上落ち込んでいる。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・月の前半は県外客の入り、単価共に思ったより順調だったが、後半は地元客の動き、予約等、全く無いといった状態である。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・通りを歩く人の数が目立って減っている。街に活気がなくなり、どんなイベントをしても盛り上がり作り出せない。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・稼働の低迷が続いており、今後回復する兆候も見受けられない。市内ホテルが供給過剰で値引き合戦になっており、すべてがマイナス傾向である。

		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も動きが悪いが、特に深夜の動きが非常に悪く、前年同月と比べて10%減少である。
		通信会社（販売担当）	販売量の動き	・携帯電話業界では、10月は冬の新商品発売を控えて買い控えがある月だが、今年は特に来客数の減少が大きい。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	来客数の動き	・アミューズメント関係の仕事は完全に週末中心の流れだが、このところ週末と平日の差が非常に小さくなってきている。
		その他サービス [立体駐車場]（従業員）	販売量の動き	・来客数、単価共に3か月前と比べても同じ状況である。また、販売量は3か月前と比べると2～3%ほど落ちている。3か月前の家電量販店のオープン効果が一通り終わったとらえている。
悪く なっている		一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・客に主として勧める商品が無く、また、客の購買意欲も少ない。
		一般小売店 [衣料]（経営者）	販売量の動き	・当地域では紅葉のシーズンを迎えているので、結構来街者があるが、いろいろな経済的環境を潤すほどではない。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・商店街に入通りが全くない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・ジャケットやセーターなど、価格の高い物の動きがないために売上が厳しい。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・先月の末に、若干好転する兆しがあったが、淡い期待であった。今月は特に来客数が激減しており、クレジットカードの利用が本当に減っている。やはり、先行き不安というのが精神的な部分で相当にあるようで、とにかく悪い。一つ一つ積み上げて客に対応するしかないが、今のところ出口が見えない。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・デジタル放送移行後はテレビ需要が大幅に減少している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エコポイント制度終了後であり、先取りした分、テレビが前年比で大幅にダウンしている。
企業 動向 関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると主力取引先の自動車メーカーからの受注が30%強増えており、前月と比べても20%近く増加している。非常に好調で現在フル操業である。
	やや良くなっている	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・秋の観光シーズンに入り、来客数は前年より10%ほど増加しているが、売上高はほとんど動きがない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事量が多くなっている。全体的にそう感じる。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の突然のスポット応援の話が何件もあり、対応に苦慮している。また、一部部署は土日返上でラインをフル稼働させている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連がかなり回復して、住宅関連も忙しくなっている。7～9月に比べ、10～12月は1～2割受注量が増えている。
		金融業（役員）	取引先の様子	・東日本大震災復興事業として、コンクリートブロックメーカーにおいて生産が拡大しつつある。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・飲食店の客入りが良くなり、求人が増えたり、運転代行の待ち時間が長くなってきている。販売促進ツールの検討も増えてきており、忙しくなっている。	
変わらない	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・ほぼ前年と同じくらいで推移している。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末の季節商材受注があるが、一時的なものである。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・親会社はタイに工場があるが、この工場に關係する技術的な基幹部品は日本からの輸出が多いため、今のところ当社にはタイの洪水の影響は出していない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・安定した生産が続いている。周りの加工関係企業も安定した状況が続いている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・1～9月まで良い傾向が続いたが、10月はタイの洪水の影響があり、取引先も好調な所と暇な所と半々くらい出てきている。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年は冬物商材等はネット通販、ホームセンター向けが大変良く動き、例年より大幅に物量が増えている。また寒さ対策の遮断シートなどのアイデアグッズも動いている。しかしながら家電の液晶テレビ等の落ち込みもあり、全体的には例年並みの状況である。	

	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・チラシ出荷量は108.2%である。数字的にはかなり良いが、昨年は9月中旬にエコカー補助金が終了したこともあり急激に落ち込んだための反動増であるので、今は良い方向でも際立って良くなっているわけではない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・東日本大震災後、少しずつ回復してきていたが、円高のせいか思ったより売上が伸びていない事業所が多い。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・下請製造業、食品製造、飲食業や宿泊業等の観光関連業、販売業は押しなべて低調であり、建設業はさらに厳しい業況に直面している。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い件数が増加傾向にある。一時的かどうか判断できないが、客の状況に変化が出てきている。	
やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	取引先の様子	・取引先がまた1件倒産したため、あまり良くない。	
	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・1年以上にわたり価格の改定をお願いしているが、まるで進展がない。価格は据置きのまま製品のグレードアップ、検査項目の増加など、コストがますます上昇していく。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円高のせいと思われるが、取引先で注文が途絶えているところがある。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ユーザー展で一部高額品が売れる傾向だったが、今月は低調な展示会が多く期待外れである。今月開催された卸向けの展示会に業者の秋冬市場への積極的な取り組みを期待したが、来場者、売上共に2割減である。市場には新デザインの商品への要望も多いが、回復への実感がつかめないため、当社だけでなく、どこでも思い切った商品展開ができていないことも売上減の原因である。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・東日本大震災の影響が薄らいでいるが、期待される復興需要の恩恵は小さい。円高に加え、中国の金融引き締めの影響も始まっており、これまで堅調だった輸出にも陰りが感じられる。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災での追加受注が一段落し、今月から受注が急減している。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。9月決算で受注額は前年比7%増であったが、東日本大震災の影響で工期延長を余儀なくさせられたため、決算に計上できない工事が生じてしまった。また、10月受注は前年比35%であり、営業受注に必死である。	
	不動産業（管理担当）	取引先の様子	・取引のある建物清掃関連会社によると、受注単価が下げられるケースが多く、数をとっても利益がなかなか出ない状況が増えている。	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・自動車関連企業の派遣が大きく伸び、クライアント1社あたりの派遣者数が増加している。
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・雇用保険を手続きする求職者が減少傾向にある。また、9月中旬から10月中旬にかけては新規求人が増加した。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車関連の部品、携帯等の電機関連に若干の動きが見られる。また、求人数の増加傾向が見受けられる。
		求人情報誌制作会社（経営者）	求人数の動き	・医療、介護サービス業の求人募集広告が最近多くなっているが、一企業あたりの募集人数は少なく、全般にはまだまだ低迷している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人数は比較的増加傾向にあるが、まだ東日本大震災の影響が続いていることや円高の影響も少しずつ出始めていることもあり、企業の方で先行き不透明だというような声をよく聞く。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数が高止まりして減らないため変わらない。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・需要の減少により印刷業界全体に不況の波が広がっており、先日入手した情報では、管内大手である法令関係主体の印刷会社において、年内に大規模な希望退職者の募集を行う模様で、他の中小の事業所でも厳しいとの声が多く聞かれる。	

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数において前年比14.1%増となっているが、離職理由について、会社都合、契約期間満了に加え自己都合退職や在職中の割合が増えているため、早期就職を希望している者が多く、滞留せずに就職につながっているため、求職者数の大きな変化はみられない。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・介護等医療系の求人が多く、その他の業種には変化がみられない。
やや悪くなっている			
悪くなっている			